

建廃協NEWS66号



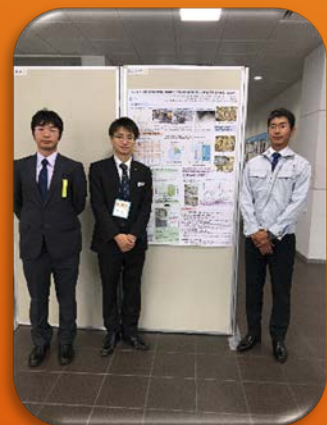
★廃棄物資源循環学会で優秀ポスター賞受賞★

9月12日から14日までの3日間、名古屋大学において第29回廃棄物資源循環学会が行われ、建設廃棄物協同組合・処理技術研究会（通称：小野組）として、『建設混合廃棄物の選別残さと主な建設廃材における有機汚濁性の検証（第2報）』と題し、ポスター発表を行い、優秀ポスター賞を受賞しました。

ポスター発表は、13日の10：30～11：45の1時間15分、ポスターを見に来られた方々に、ポスター内容を説明するという形で行われ、廃棄物処理業者の方、セメント製造業者の方、大学の先生、プラント関係の方、行政の研究施設や廃棄物担当の方など、数多くの方に来ていただき、内容を聞いていただきました。今年は約80以上あるポスターの内、7件のポスターが優秀ポスター賞に選ばれ、大学・国立法人と並び唯一民間での受賞となりました。

意見交換会の場でも、祝福の声を頂いたほか、引き続き時間が無い中でも研究を続けて欲しいとのご意見を頂き、これからも課題は多いと思いますが、業界の先駆を走るべく、技術や結果を残していきたいと思っております。

最後に、今回のポスター賞受賞に際し多大なご協力をいただきました埼玉県環境科学国際センターの川寄幹生先生、渡辺洋一先生、環境資源システム総合研究所の浦野真弥先生にあらためてお礼を申し上げます。



★経営者会議 開催★

9月19日（水）京橋区民館にて経営者懇談会を行いました。今回は、昨今の二次処理先の値上げや人材不足の問題などの現状認識を共有するとともに、今後の適正処理に向け忌憚のない意見を交換しました。

